

＜事業計画申請時＞

【課題】

群馬県の絹産業は繭農家の減少により繭収納量、生糸製造も減少傾向にある。群馬県シルク産業は、繭農家の担い手増加による繭の収納増や群馬県シルクの新たな活用による売上拡大による発展が喫緊の課題である。



【目的】

群馬県は、養蚕・製糸・繊維の三業が揃い、伊勢神宮の式年遷宮の衣装・調度品等に使用する生糸生産地の選定など日本が誇る確固たる技術力をブランド化に生かしていくとともに新商品開発や販路拡大、ブランディング支援を行うことで売上拡大や事業者増加を図り、群馬県ひいては日本のシルク産業の持続的発展を促進する。

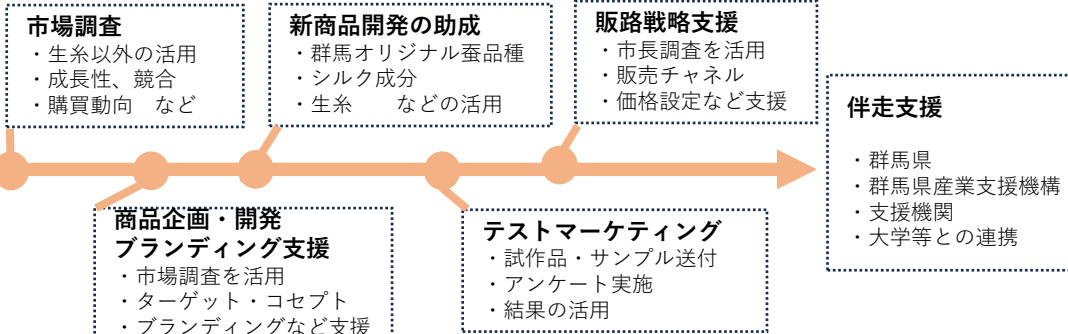


【都道府県の施策との連携・親和性】群馬県蚕糸振興計画(案)(令和8年3月)にある、養蚕業の活性化と継承対策や製糸業の活性化と県産シルクの需要拡大に基づいている。県産シルクの需要拡大のため、支援が十分でない新たな商品開発等への助成は、本事業で補完を行い県の施策と連携する

✓ 地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック ✓ してください。

【本事業の内容】

群馬県シルクの市場調査を実施したうえで、商品企画・開発、ブランディング、新商品開発助成、販路開拓まで一貫した支援を行い、日本のシルクの継続的発展に寄与する。



1 新商品開発・新事業展開補助金事業

- ①群馬県シルクを活用した新商品開発・新事業展開の経費の一部を助成
- ②助成額 上限 300万円(2/3)/社

2 新事業展開・マーケティング等支援事業

- 新商品に係る市場調査、商品企画・開発、ブランディングのアドバイスや新商品に係るテストマーケティングを支援する。
- ①群馬県シルクの市場調査
 - ②専門家派遣
 - ・商品企画・開発、ブランディング支援
 - ・販路戦略支援
 - ③テストマーケティング

群馬県シルクの魅力度向上支援事業 (R8~R10年度)

【R8年度】

- ・新商品開発助成
- ・専門家派遣
- ・テストマーケティング



【R9~R10年度】

- ・群馬県シルクのブランディング策定
- ・群馬県シルクのブランディング活用企業の伴走支援
- ・WEBマーケティング
- ・観光ツアーや体験ツアー等の新たなサービス展開支援
- ・新商品開発助成

群馬県・群馬県産業支援機構・支援機関・大学等の伴走支援

【結果ならびに成果の目標】
新商品開発から販路支援などを2社に対して一貫した支援を行うことで収益改善や新市場進出を支援する。

- ・R8~R10年度を通じて事業者増加数6社
- ・R9年度は「群馬県シルクのブランディング」策定を予定。

【波及効果の目標】
本事業の一連の取り組みを行うことにより、企業が継続的発展に向けた経営戦略を立てる契機となり事業の多角化が進展する。また、減少を続けている繭農家の新たな担い手の創出、シルク産業の新規参入事業者の増加にも繋げていく。

【将来の支援目標】
新事業展開による群馬県産や国産シルクの付加価値向上が図られ、ブランド力の強化により、国産シルクに携わる事業者も増えるなど群馬県シルクはもとより国産シルクの日本シルク産業の全体の持続的発展を目指す。